

令和4年度 第1回北杜市ホール運営検討委員会 議事録

日 時：令和4年11月8日（火）午後2時00分～3時40分

場 所：北杜市役所北館305階会議室

出席者：森田会長、進藤副会長、細洞委員、内藤委員、板山（俊）委員、加藤委員

欠席者：板山（國）委員、伊部委員、植松委員、橋本委員

事務局：平井参事、渡辺課長、ホール担当・丸茂、興水

公開・非公開の別：公開

傍聴人：0人

- 次 第：1 開 会
- 2 会長挨拶（森田会長）
 - 3 議 事（進行：森田会長）
 - （1）ホール運営及び管理について
 - （2）ホール事業について
 - （3）指定管理者制度の導入について
 - （4）その他
 - 4 閉 会（進藤副会長）

議 事：

- （1）ホール運営及び管理について

議 長：では、議事（1）「ホール運営及び管理について」説明を求めます。

事務局：（資料により説明）

議 長：ありがとうございました。

ただ今の説明について、ご質問等あればお願いします。

議 長：やまびこホールにはモニターがありましたが、3館とも舞台の音声がロビーで聴こえますか。例えば、遅れてきたときに聴けないとか、演奏と演奏の合間に

人を入れてあげたいのですが、聴こえないので入るタイミングが難しいです。

事務局：須玉と高根については、それが可能ですが、長坂については図書館が併設されているので、外に音が漏れることもあり、できないです。

議長：画面で音が出てなくても見ることができますか。

課長：画面がないので見るできません。

議長：他に質問等ありますか。なければ議事（１）「ホール運営及び管理について」の議事を終わります。

（２）ホール事業について

議長：それでは議事（２）ホール事業について説明を求めます。

事務局：（資料により説明）

議長：ありがとうございました。

委員：毎年開催してきて10年近くになりまして、お客は定着したと思う。予算から考えるとお得だと思う。クラシックファンは少数だが人口の割には来客数があり、年々増えてきている感じがする。ただ、今年も新型コロナウイルスで観客数も制限されていますが、もっと聴いていただければ評価もあがるのではないか。この環境の素晴らしい自然の中で、文化が少しずつ芽生えてきている。私は移住して20年になりますが、当時と比べると雰囲気は全然違います。文化が芽生えつつあるのはホールがあったからだと思います。北杜市教育委員会と10年来協力しあってオペラを実施していますが、山梨県内で北杜市だけです。他ではオペラを実施しようとする雰囲気すらない。それはやはりホールがあるからだと思います。

議長：ありがとうございました。

オペラも定着しましたね。学校芸術体験事業について、感想等お聞かせください。

委員：コロナの関係で、学校単位で行われていた学校芸術体験事業がなかなかできませんでした。昨年度、今年度と計画を立てるわけですが、影絵を計画していま

した。しかし影絵は暗くしなければならない、換気が十分にできないという理由で中止となりました。そういう中で、八ヶ岳やまびこホールで行われた「太鼓のひみつ」に市内の小中学生が参加しました。子供たちは帰ってきてバスから降りても興奮しておりました。子供のころに心躍る体験ができるものを今後も継続していってほしい。

議長：私もぜひ継続していってほしいと思います。ありがとうございました。
他の委員はいかがですか。

委員：20数年前に週休2日になりましたが、当時のキャッチフレーズが「受け皿」。子供たちは自主的に何かをしようとする習慣は身につけていない。大人がここでこういうものを行っているよという受け皿を用意しなければならないのではないかという思いがあったと記憶しています。北杜市は合併により各町村で持っていたいろいろなものがプラスになっている。こんなに多くのホールという受け皿があるところは他にないし、それを活用すべくたくさんのいろいろな行事を実施しているところはないと思います。

委員：今回のオペラは前より増して演奏が素晴らしかった。身近で聴く音楽は、場所と演奏者で決まる。感激するようなオペラでした。今後ホールを通じて一人二人広がっていくことで北杜市がどんどんいい街になっていくのではないかと考えております。

市民の中でも、特に子供ですね、来た時と帰っていく時では表情が全然違う。素晴らしいホールで生演奏が聴ける効果は、座学以上のものがあるかと思いません。

議長：ありがとうございました。

(3) 指定管理者制度の導入について

議長：(3) 指定管理者制度の導入について説明を求めます

事務局：(資料により説明)

議長：ありがとうございました。八ヶ岳やまびこホールの指定管理を視野に入れて考えてきたいそうですが、ご質問等ございますか。

事務局：補足ですが指定管理者制度は公共施設を民間の事業者に包括的に管理していた

だく制度となっております。指定管理者制度の狙いとは利用者へのサービスの向上、経費の削減という2つの狙いがある、そういった目的を実現できる施設については、積極的に指定管理者制度を導入する流れとなっております。市におきましても、今年の3月に総合計画、行革大綱を併せて策定しましたが、行革大綱の中で民間活力の活用推進という項目を取り組みの基本方針としており、その中で民間の力を活用しながらアウトソーシングできるものは積極的に取り組んでいく方針を掲げています。ホールについてですが、利用者があるような施設については、指定管理者制度の導入を検討することが基本となっております。市のホールの中でも八ヶ岳やまびこホールについては、ホール運営検討委員の皆さまの協力を頂きながら様々なホールイベントを実施して知名度も徐々に上がってきているところです。更なるサービスの向上と経費の削減、また施設の有効活用が図られるのではないかとということで、3つのホールの中で、まずは八ヶ岳やまびこホールで指定管理者制度が可能かどうか検討していこうという段階であります。可能であれば、制度の導入をしていきたいわけですが、委員の皆さまからご意見を頂きながら、制度がホールの運営に馴染むのかどうかを判断しながら今後検討していきたいと思っております。市としましては指定管理者制度の導入を進めていきたいという考えはあるのですが、もう少し直営の方がいいのではないかとという意見も当然あるということで、広く皆様の意見を頂けたらと思っております。

議 長：指定管理制度を導入したら独立採算制になるのですか。市の事業の関わり合いはどうなりますか。

事務局：それぞれの施設が、今までどのような運営をしてきたかというのと変わってくると思っております。やまびこホールは学校や市民の団体に積極的に活用して頂いておりますが、利用料については減免制度がございます。そこは指定管理者を決める際に、条件を提示しますから、その条件はホール運営検討委員会の中で、市民が気軽に利用できる形がいいのか、民間のノウハウを活用し、いろいろな方をホールに呼びながら、様々な芸術を紹介できる施設にするのがいいのかなど、いろいろな考え方がありますので、皆様のご意見を参考にしながら進めていく形になるかと思っております。ただ、市営の施設ですので子供や市民の団体等への利用の制限はあまりかけたくないと考えています。

議 長：指定管理は中身だけで、外側は市が持っているということでよいですか。

事務局：所有は市ですが、全体的な管理は指定管理者に全て委ねるという形になります。

議 長：そこで独立採算制で、黒字にならないといけないわけですね。

事務局：基本的には独立採算制ですが、たとえば体育施設などはもともと黒字になる施設ではないので、市から指定管理料を支出しながら運営をして頂いています。黒字が望ましいのですが、施設の性質上厳しい部分があります。

議 長：音楽的な事業をするには、八ヶ岳やまびこホールは座席数が400席しかありませんから、演奏家やオペラなどを呼ぼうとしてもなかなか呼べなくて、チケットの代金が高額になってしまい、事業として成り立たせるのは難しい。今は市が実施しているので、ありがたいことだと思います。八ヶ岳やまびこホールは本当に素晴らしいホールで世界中の演奏家が来ると、「こんな素晴らしいホールがあったのか」とお褒め頂くことが多々あり、北杜市の宝だと思っています。ただ、市が事業としてするのは費用に大変なことは目に見えていますので、もう少しハイブリッドな方法がないものかなと思います。

委 員：利用の多いシーズンの時は大いに活用されていますが、利用の少ないシーズンは本当に不経済ですね。その入った指定管理者によってホールが活かされるかが決まると思います。

私としては、慣れた方にお任せした方がいいと思いますが、変に営利を求める管理者が入るのもよくないと思いますので、そのあたりで悩みます。

事務局：議長がおっしゃったとおり、やまびこホールは400席しかないのですが、商業ベースで考えると、とても採算が取れる施設ではないので、市としても八ヶ岳やまびこホールを100%商業ベースの施設にしようとは思っていません。それよりも、市が経費を支出してでも皆さんに使って頂きながら、使用がない時期をしっかりと稼働させるような指定管理者を募集するべきではないかと思っていますので、決して営利重視ということではなくて、皆さんに使いやすい施設になるように、なおかつ経費面でもメリットがあるような施設を目指したいというところです。

議 長：客席400席で黒字するのは難しいけれど、そのために使用料が高くなるかもしれないし、できる限り市民にメリットがあるように移行してもらえたらありがたいですね。

事務局：使用料については条例で規定されておりますので、そのあたりで縛りをつけたいと思います。指定管理者制度を導入すればこういう施設の運営がいいのではないかというご意見を頂けると非常に今後の募集に際しての参考になりますの

で、その観点からのご意見があればありがたいです。

議 長：市から指定管理の団体を作るといことはしないのですか。

事務局：市のほうで団体を作るといことはできませんが、有志の方々に作っていただけるような方がいらっしゃれば非常にありがたい。

議 長：北杜市にはやっていただけそうな方は多いですけど。

委 員：芸術・文化活動されている方は多いですよ。

議 長：照明も録音の専門の方もたくさんいらっしゃいます。

事務局：そういう方々が集まって団体を作っていただけると非常にありがたいし、市としても盛り上がります。

議 長：たぶん、儲けようと思わないで、皆さんのためにできると思ってやって下さる方がいれば一番いいですね。

事務局：現状でもやまびこホールは年間1000万円ほど市からの持ち出しがありますので、当然負担はあります。韮崎文化ホールは指定管理者を募集する際に、指定管理料年間9000万円までなら市が負担しても良いとしています。

議 長：ホールのスタッフは継続してくださっていますよね。施設の管理もわかっているらっしゃると思いますが、指定管理者にもそのあたりは継続してもらえるようになるのでしょうか。

委 員：そのあたりは指定管理者次第ですか。

事務局：確かに指定管理者次第ですが、市として募集する際に条件としてしっかり出すことが大事だと思います。そこを踏まえた中で民間のノウハウを生かしてもらいたいということが大事だと思います。なので、募集する際の条件をしっかり整えたいと思います。

議 長：八ヶ岳やまびこホールの客席の一番下の階段ですが、床と見分けがつきにくく、つまずいて転んだ方を何人か見ておりますので、対応策をおねがいたします。

事務局：滑り止め等を設置するなど対応いたします。

議長：他に何かございませんか。活発なご意見をたくさんありがとうございました。

(4) その他、報酬の支払いについて

議長：それでは(4) その他、報酬の支払いについて説明を求めます。

事務局：(資料により説明)

議長：ありがとうございました。委員から他にありますか。

委員：学校芸術体験事業ですが、参加できる学年が決まっていますか。

事務局：特に決めておりません。希望校が多数の場合、ホールにあまり人数を呼べないので、今回は3回公演に変更しました。

委員：学校の都合ということですか。

事務局：そういうことではありません。人数制限が決まっていることと、奏者の拘束時間のこともありますし、なかなか全員を定員400名の施設に招待するとなると日程的にも厳しい部分がございますして制限をさせて頂きました。

議長：来年度、学校芸術体験事業は他の事業と合併になりますよね。

事務局：学校芸術体験事業は、大学等との連携による文化芸術創造事業の中に統合させて頂きました。大学等との連携による文化芸術創造事業は芸術活動をする団体の方々を招いて合宿等を行って、最終日に市民向けに発表会を行うという内容のもので、その発表の中に小中学生を招いてお聴き頂ければというところで統合をさせて頂きました。

議長：大学等との連携による文化芸術創造事業の中だけではなく、他の事業の中にも組み込むことは可能ですか。

事務局：開催日は土日に設定してありますので、学校単位でとなると難しいと思います。今後可能であれば、学校枠をイベント毎に確保して参加校を募集するということも検討してみたいと思います。

議長：ぜひ前向きに検討をお願いいたします。他に何かございますか。なければ議事を閉じたいと思います。ありがとうございました。

4 閉会：進藤副委員長

(終了 午後3時40分)